



コロナ禍に立ち向かい 市民本位の市政を推進して まいります

あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに令和3年の新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、市政の推進に温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国の内外が混迷を極めた年となりました。本市においても、数多くの事業が延期や中止となるなど、市政にも大きな影響が生じましたが、市民の皆様のご健康と暮らしを守るべく、国の地方創生臨時交付金などを活用し、給食費の無償化やお店応援クーポン券の発行をはじめ、高齢者の方々に対象としたインフルエンザ予防接種の助成など様々な対策を講じてまいりました。今後も国の動向を注視し、有利な補助制度を活用しながら、真に効果的な事業を展開してまいりたいと考えております。

一方、市の未来を見据え、着実に継続してきた事業の一つひとつ花開いてまいります。

まず、地方創生を実現する起爆剤として昨年4月に設立した五條市地域商社株式会社に於いて、古くから地域の郷土料理として親しまれてきたさんま寿司の商品化が実現しました。

また、今春には、今後益々国の重要な産業として位置づけられると考えられる農業に特化した西吉野農業高等学校が、市立の昼間定時制高校として新しくスタートいたします。近い将来、ここ五條の地で学んだ多くの若者が、地域の『食』を支えてくれることを期待いたします。

さらに、秋には、市町村合併に伴う新市建設計画の中核ともいえるべき市役所新庁舎が完成し、長らく市政の中心であった本町地区から岡口地区へと市役所の機能が移転いたします。これまで市政を支えてこられた多くの先人をはじめ、平成17年の市村合併以降、新市の建設にご尽力いただいた関係各位に感謝するとともに、全職員が心を一つにし、新たな庁舎にしっかりと魂を注入してまいりたいと考えております。

現在、米国をはじめ、各国において新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの開発が急ピッチで進められておりますが、人類は、太古よりあまたの疫病に打ち勝ってきた歴史があり、この感染症についても、ワクチンの完成などによって、早晚、光が見えてくるものと確信するとともに、本年が市民の皆様にとりまして幸多い年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

五條市長
太田好紀



五條市発展のため なお一層邁進してまいります

あけましておめでとうございます。市議会を代表いたしましたし、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃から市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

私は、昨年の12月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の重責を担うことになりました。もとより微力ではございますが、決意を新たに、円滑な議会運営と本市のさらなる発展のために全力を尽くす所存でございます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症により、三密の回避

や手指消毒に検温、マスクの着用等、新しい生活様式を余儀なくされました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東京2020オリンピック・パラリンピックが延期となり、聖火リレーも延期されました。本市におきましても、一部事業の延期や公共施設の利用制限等が行われ、総合防災訓練や吉野川祭りなど、様々な行事も中止となりました。こうした状況の中で、多くの方々からマスクや消毒液等をたくさん寄贈していただき、深謝申し上げます。

また、5月には、新しい養護老人ホーム花咲寮が地域の皆様のご協力をいただき開所となり、12月には、五條高等学校賀名生分校の創立70周年記念式典が挙行されました。

そして今年、市役所新庁舎の竣工予定や学校適正化・認定こども園整備事業など大きな事業が控えております。

市議会といたしましても、市民の皆様のお声を十分お聞きしながら、理事者としてしっかりと議論を重ねて、本市発展のため、議会活動になお一層邁進してまいります。

市民の皆様には、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が平和で市民の皆様にとりまして、さらに幸せで実り多く、素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

五條市議会議長
山口耕司

新年の挨拶

市政報告

感染症対策

くらし

病院・消防

市民ごよみ

こそだて

まなび

交流

おしらせ